



## 院生連絡協議会後期総会 開催される

■ 12月2日（木）、院生協後期総会が開催されました。

総会議事のなかで、後期執行役員が承認されました。都道府県支部等活動の参考のために代表役員を紹介します。

会 長	岡田（兵庫県）	教育コミュニケーション
副会長	片桐（愛知県）	生活・健康・総合内容系
〃	足立（兵庫県）	学校心理学
〃	杉山（神奈川県）	小学校教員養成
〃	日渡（兵庫県）	小学校教員養成
会計長	小那覇（岡山県）	芸術系（音楽）
監査長	宮川（兵庫県）	授業実践リーダー
書記長	大林（島根県）	自然系（理科）
広報長	重松（福岡県）	自然系（数学）



また、本年から同窓会が給付した活動支援金10万円は、計画的に有効運用されていることが報告から伺えました。

■ 来賓として同席された福本副学長から「院生である2年間もしくは3年間だけでなく、また院生同士ということだけでなく、修了されたOBの方、特に現職教員の先生方が多いですので、その方々との交流をこれからも深めていってください。」という趣旨のご挨拶がありました。



■ 大学院同窓会からは吉田参与が出席され、次のようにご挨拶されました。

「皆さん、こんにちは。3点ほど申し上げます。

まず1点ですが、数日前に佐賀県の方へ行かせていただきました。現在、小中一貫教育が全国的に進められているのですが、その先進地視察でありました。その時にですね、同窓会は全国組織ですので、佐賀の役員の方から多くの情報をいただいたり学校案内をしていただいたりで非常にお世話になり、とても嬉しく感じました。

皆さんは全国からおいでです。単にここで学んだというだけではなく、皆さんのネットワークは全国にあるわけです。今紹介した佐賀県のことはその一例ですが、そういう意味で今後ともぜひ、勉強もさることながら、人脈作りをしていただければ良いかなと思います。

2点目、久しぶりに私も役所勤めをしております。そこで改めて気付いたことは、子どもをめぐむ状況が非常に厳しくなっているということです。子どもたちの家庭状況が非常に厳しくなっていると同時に、親御さんの考え方が非常に変わってきている、もうびっくりするほど変わってきている。それに対して、ベテランの教師、管理職でも対応しきれないという状況が起きている。現職の方は、ここ1・2年の内に学校へ帰られるわけですし、これから現場でお勤めの方もそうですが、そんな中で必ず戸惑いが出てくる昨今ではないかと思えます。

そういう意味において、「人を知る」ということ、「人とかかわる」ということがどういうことなのかということも、教師として日常勤務していく上で非常に大事なことです。院生協の活動は、ご苦勞があったり、勉強と両立するのが難しかったりすると思いますが、ここで皆さんと共にやってきたことが大いに役立つはずですよ。

3点目です。現職教員の派遣が休止になっている県もあって、同窓会が高齢化・固定化している傾向があります。皆さまには院生協の活動を糧にされ、修了後いずれの地に就かれましても、各地方において、同窓会の軸となっただけの事を期待しております。

私達も、同窓会を活性化させるための委員会を発足させまして、先日、各支部の活性充実化へ向けての答申を出したところです。皆さまのサポートができる同窓会の組織化に努力していきます。

今からいろいろとお世話をかけますけれども、よろしく願いいたします。」



## ■会長メッセージ

総会開催の祝辞をお送りしました。

「平成22年度院生連絡協議会後期総会が開催されますこと、おめでとうございます。

貴会の、より一層の発展をお祈りいたします。

皆さまは大学院同窓会の次代を担ってくださる方々であり、大きな期待を寄せています。

今後とも、同窓会との繋がりを強くしていただきますようお願い申し上げます。

兵庫教育大学大学院同窓会 会長 大橋 博」

----- お知らせ -----

## 第31回大学院同窓会総会・岐阜大会

開催日 平成23年8月20日(土)～21日(日)

会場 岐阜市長良 鶺鴒の家「すぎ山」

内容 ・修了生の教育実践活動等に係る表彰

・教育実践発表

・講演：「岐阜の伝統文化」杉山雅彦氏（宮内庁式部職鶺鴒匠）

・巡検：鶺鴒飼観覧、織田信長居館跡・岐阜城見学

5月頃、案内文書をお送りするとともに、Hyokyo-netでも広報します。

